

2023 年度 ルールと解説の確認点

品川区バスケットボール連盟
審判部

この資料は JBA（公益財団法人日本バスケットボール協会）より 2023 年 4 月から実施するために公開された『2022 FIBA バスケットボール競技規則 変更点サマリー』の中から、品川区バスケットボール連盟大会において必要と思うものを抜粋し、加筆したものです。

1. アンスポーツマンライクファウル

トランジションなどで、相手チームのバスケットに向かっているプレイヤーがディフェンスに後ろや横から触れ合いを起こされたとき、ファウルをされたプレイヤーとバスケットの間に相手チームのプレイヤーが一人もいない（クリアパス）場合はアンスポです。同じ条件であれば、「パスを受けようとするプレイヤー」や、「前に走る味方にパスしたプレイヤー」がファウルされたときもアンスポが適用されるようになりました。

2. スローインファウル

ゲームの残り 2 分間で、スローインするプレイヤーの手からボールが離れる前に起こったディフェンスファウルは、「スローインファウル」として、1 個のフリースローとスローイン（ファウルが起こったところから）が与えられるようになりました。今までのアンスポはなくなりました。

3. 前半攻めるバスケット

前半に攻めるバスケットが自チームのベンチ側になりました。そのため、前半のアップも自チームのベンチ側のハーフコートで行います。後半はその逆になります。

4. ユニフォームの番号の大きさ

新しくユニフォームを作るチームは番号の大きさが前 8cm 以上、後ろ 16cm 以上となり、少し小さくても良くなりました。

5. ゲーム開始のジャンプボール後のポゼッションアローの向き

ポゼッションアローは、ゲーム開始のジャンプボールの後、最初にボールをコントロールしたチームの相手チームが攻める方向を示します。

6. クォーター終了間際のファウル

クォーター終了間際にファウルとブザーがほぼ同時に鳴ったときは、笛とブザーどちらが先だったのかを決めます。終了のブザーが先に鳴っているときは、特別なファウル（アンスポやディスクォリ）以外のファウルは取り消され、そのクォーターを終了します。ファウルの笛が早かったときは、残り時間を戻してファウルの処置をして、ゲームを再開します。これまでのように、シューターだけ残ってフリースローを打ってクォーターを終えることがなくなります。

* ルールについて質問がある場合は、大会期間中に役員へ気軽にお声がけください。